

一般質問発言通告書（2日目）

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	平 良 識 子 (社 大 党)	1 平和行政について	戦後 70 年。メディアによる県民世論調査で、沖縄戦の体験がきちんと継承されていないと回答した人が 66.4%に上った。沖縄戦の次代への継承のあり方について、人からモノへ、記憶を語らせる取り組みが行政に求められている。以下伺う (1) 県は戦争遺跡を文化財指定する方針を決めた。県の 1,076 カ所の戦争遺跡において、沖縄戦の実相を運命づけた最重要の戦争遺跡のひとつに、首里城地下の第 32 軍司令部壕がある。当該戦跡の文化財指定についてどうなっているのか (2) 真嘉比大道森ハーフムーンの戦争遺跡で発掘された遺物について、市として沖縄戦の継承に向けて平和活用することが望ましいと考えるが見解を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 文化財行政について	(1) 首里高校グラウンドから発掘された中城御殿遺跡について 学校校舎の老朽化により、建替計画が進められている首里高校グラウンドにおいて、1600 年代に建造された中城御殿が良好な保存状態で発掘された。当該遺跡については、沖縄考古学会から「世界遺産に準じる価値が認められる」として、保存活用を県及び県議会に要請されたことで、当初の記録保存から、現在、現地保存が検討されている 6 月 5 日に県教育庁から那覇市都市景観審議会に対して、首里高校内中城御殿跡の遺構を将来的に復元できる状態で保存し、後世に伝えるため、遺構の現地保存を検討していること、さらに校舎改築の早期実現も喫緊の課題であるため、その解決に向けて遺構に配

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			慮した改築計画及び首里の景観に配慮した設計変更を考えているとの報告があった。以下伺う ① 当該遺跡の今後の活用について、市として中・長期的な構想及び計画策定に取り組むように要望する。見解を伺う ② 当該遺跡の文化財指定及び世界遺産群の追加登録の可能性について伺う (2) 城西小学校の体育館・幼稚園・児童クラブの建設事業が現在進められているが、琉球王府の御細工所の遺構が確認されている。建て替えスケジュール及び遺跡の保存活用について、どのように対応していく予定か伺う
		3 待機児童解消と認定こども園の移行について	(1) 認定こども園に移行後の、待機児童解消数、3歳児保育の対応及び給食提供の計画について伺う (2) 那覇市立幼稚園 36 園すべてを公立型認定こども園で運営した場合のシミュレーションについて伺う (3) 現場から多くの不安と懸念の声を聞く。現場の先生方、PTAなどへの丁寧な説明、情報共有、意見交換、合意形成が求められている。早急な対応をお願いしたい。見解と取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（2日目） 平成 27 年 6 月 25 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (ひやみかち那覇・無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 一括交付金事業について 2 福州－那覇便就航について 3 待機児童解消について 4 外国人観光客の誘致について	(1) 龍柱建設事業に会計検査院が入ったが、何らかの指摘や指導があったのか伺う。また、後日何らかのペナルティーが課せられる可能性があるのか、あるいはその懸念があると考えているのか伺う (2) 繰越事業中、完了予定時期が平成 28 年 3 月になっている津波避難ビル建設事業について、事故繰越の懸念はないか伺う (3) 一括交付金事業中、一括交付金制度が無くても取り組まなければならない事業はどの程度あると考えているのか伺う (4) (3)に関連して、一括交付金が切れた後の財政シミュレーションを持っているのか伺う。厳しい先行きが見通せないか伺う 本市と福州市は友好都市であるが、今度の民間航空機就航セレモニー等に関わっているのか伺う。また本市として何らかのセレモニーを行う考えがあるのか伺う 横浜市では保育コンシェルジュという相談事業が大変好評とのことである。本市としても取り入れたらどうか伺う サブカルチャー分野の事業計画や施策を行う考えはないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 6 月 25 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	桑 江 豊 (公 明 党)	1 環境行政について	「住宅騒音防止対策事業」について、以下伺う (1) 住民説明会等含めた申請手続きから防音工事完了に至る詳細スケジュール (2) 当該防音工事に係る住民・市・国の関係及びそれぞれの役割 (3) 職員の予算執行体制
		2 福祉行政について	「認知症対応型共同生活介護」（グループホーム）について、以下伺う (1) グループホーム事業の概要 (2) 本市における地区別の認知症高齢者数及びグループホーム事業者数 (3) 小緑地区への優先整備要望について
		3 市民スポーツ行政について	市が管理するテニスコート使用料について高齢者割引制度（65 歳以上半額）を適用しているところとしていないところがあるとの市民の声がある。以下伺う (1) 公園管理課及び市民スポーツ課が管理するテニスコートの現状 (2) 是正へ向けての取り組み
		4 市民行政について	平成 27 年度一般会計当初予算企画財務部情報政策課分債務負担行為（平成 27～33 年度）「コンビニ交付導入事業」（53,516 千円）について、事業の詳細な概要を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 6 月 25 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	野 原 嘉 孝 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 住居表示について 2 文化行政について 3 公園整備について	本市における住居表示の事業について、旧地番から〇丁目〇番〇号との変更手続きが地域ごとに実施されているが、その内容について以下伺う (1) 住居表示を新たにする理由、事業目的とその意義について (2) 過去 5 年間で実施した状況について (3) 真嘉比・古島の区画整理が実施された地域において「住所の類似表示」があつて困っているとの相談を受けたが、その実態と背景を伺う 県議会 6 月定例会において「空手会館新築工事請負契約」について審議されると聞いている。いよいよ沖縄伝統空手の歴史の整理と学術的な体系づけを図ることが重要になってくるものと考えているが、以下当局の見解を伺う (1) 空手会館の建設予定地は、豊見城城址公園跡地に決定して計画が進められているが、当初は、那覇市も建設地として名乗りを挙げていた。2011 年 10 月那覇市空手道連盟の代表が当時の翁長市長を表敬し、那覇市誘致を要請しているが、その際の状況を伺う (2) 空手会館は県の事業ではあるが、建設計画が進む中で、本市としてどのような取り組みをしていくのか伺う 平和通りと希望ヶ丘公園の防災道路のアクセス、及び動物と触れ合うことのできる公園づくりについて以下伺う (1) 希望ヶ丘公園のすぐ傍に新しいホテルが建設され、平和通りの観光客も増えることが予想される。希望ヶ丘公園の今後の整備計画と防災対策における位置づけを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 大石公園のヤギは市民に好評で、住民参加のまちづくりの観点からも大変成功しているが、動物と触れ合う公園づくりの計画はないのか、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（2日目） 平成27年6月25日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 消防行政について 2 防災・減災教育について 3 沖縄愛楽園 激励事業について 4 協働による まちづくりの 推進について	河川での水難事故の防止をするために、市民の安全対策として以下質問する (1) ペットボトル活用簡易救命具の耐久性、保守管理について (2) 消防職員がボランティアで設置を始めた簡易救命具の反響を問う 防災や救護に対する市民意識を高めるために、小中学生から救護や防災知識の向上を図るべきである。教員・学生等への啓発現状を問う (1) 那覇市の沖縄愛楽園激励事業の概要について問う (2) ハンセン病問題を、教育現場で学習するべきと考える。見解を問う (3) 愛楽園激励事業に参加した時、那覇市出身の方から那覇の三大祭を見たいと思いを語られた。高齢の入所者が安心して祭りを楽しんでもらえるように、招待するべきである。見解を問う (1) 地域のために空き地などを活用し、遊具を設置・管理している自治会数を問う (2) 利用者の安全のために、遊具の使用禁止措置が行われた公園的な広場は、何カ所あるのか問う (3) 自治会の負担を軽減し、誰もが安心して利用できる遊具のために、自治会に対し支援する事はできないか。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 6 月 25 日（木）

[illegible]

一般質問（２日目） 平成 27 年 6 月 25 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	前 田 千 尋 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子宮頸がんワクチン接種による健康被害者支援について 2 公共交通の充実について 3 第一牧志公設市場の再整備について	子宮頸がんワクチン接種の現状と、接種後の副反応に苦しむ健康被害者支援の対応を問う 県内のバスとモノレール料金を共通で支払えるOKIKA（オキカ）が販売された。市民からは、これまでの回数券が無くなり、オキカによって割引率が低くなっている。それにより、市民生活を圧迫するとの声がある。本市は、市民が安全・安心して利用し、公共交通の充実を図り、利用を高める交通政策を目指していると考え。回数券とオキカの現状と公共交通に対する見解を問う 第一牧志公設市場は、これまで市民の台所として、また本市中心市街地の観光とにぎわいの拠点としての歴史がある (1) 第一牧志公設市場の役割と、「公設」としての整備を含め、事業手法についてはどのように考えているかを問う (2) 周辺商店街関係者への説明会を行っているが、さらに幅広い市民や観光団体などにも、再整備事業の説明と意見交換する機会を設けるべきではないのか。対応を問う (3) 3つの位置の比較検討案は、将来的な効果なども考慮して決定すべきだとの声がある。見解を問う (4) 新たな公設市場になった際の使用料についての考えを問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 久茂地児童館と地域の活性化について 5 性別で分けない名簿の使用と人権教育の充実について	(1) 公設市場の移設先に挙げられているにぎわい広場には、久茂地児童館がある。現在の場所に暫定的に配置されているがどういった経緯で設置されたのかを問う (2) 久茂地児童館を久茂地地域に戻してほしいとの地域の声に応えるべきである。移転計画はどうなっているのか。現状と今後について問う (3) くもじ地域自治会の拠点事務所の移転先について問う 今年3月、県教育委員会は男女混合名簿導入の推奨を各自治体へ通知している。また、文科省は4月に心と体が一致しない性同一性障害や性的マイノリティーとされる児童生徒へのきめ細かな対応を求める通知を出している。学校名簿は、児童生徒を性別で分けない混合名簿を積極的に使用すべきである。本市の対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 6 月 25 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	下 地 敏 男 (社 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 平和行政について	(1) 沖縄戦の記憶を継承する取り組みについて 戦争体験者の高齢化に伴い沖縄戦の記憶の風化が 68%になるという(沖縄タイムス県民意識調査 2015 年 6 月 17 日)。2009 年 10 月 9 日から同年 12 月 10 日にかけて市内真嘉比地区土地区画整理事業に伴い N P O 団体ガマフヤー代表の具志堅さんは、市民参加による遺骨収集を行い戦争遺品、遺骨を数多く発掘している。本市の第 4 次総合計画に戦争の歴史をみんなが伝えることができる施策の実行があり、課題として戦争史跡・資料の保存と紹介・活用があげられている。その取り組み状況について、以下伺う ① 遺品・遺骨の保管はどうなっているか ② 県は遺骨の焼骨停止を決定した。真嘉比から出た遺骨の D N A 鑑定をどのように進めていくのか (2) 日米地位協定について 本議会において相次ぐ米軍人・軍属による事件・事故に抗議し、綱紀粛清の徹底を強く求める意見書を衆参両議長及び関係大臣に提出した。こうした米兵による事件事故を引き起こす要因に日米地位協定がある。同協定の抜本的改定に向けた取り組みを伺う (3) 航空自衛隊那覇基地所属の C H 47 ヘリによる重大トラブルについて 過去にも自衛隊機に関係するトラブルが発生しており、今後も狭隘な那覇空港の軍民共用で事故の増加が考えられる。危険な那覇空港の現状改善に向けた取り組みを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 消防行政について	市民が日常を安全・安心に過ごし、また県外・国外から本市を訪れる観光客が快適に観光を楽しむ環境を整備することは消防行政の大きな柱である (1) 本市の救急搬送人員も増加の傾向にあり適切な対応を図らなければならない。以下、本市の取り組みについて伺う ① 25 年、26 年、27 年の救急出場件数等の推移について ② 救急体制の強化拡充の取り組みについて (2) 火災が発生した場合に火災防御活動を支障なく行うには鎮圧するための水の確保が最重要になってくる。昨今の水事情から断水が予想されるが、その時の対応はどのようなになっているか伺う
		3 ゆいレール駅広場の環境整備について	ゆいレールの利用者数が増大している。平成 15 年 8 月の開業以来本年度 5 月末で、約 1 億 6 千万人に達している。首里駅～てだこ浦西駅まで延伸計画が進む中で、交通結節点機能等を生かし利便性を高める既設の駐輪場、上屋の現状はどのようなになっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長